

## チャレンジ・カーボンニュートラルいなべ

近年、地球温暖化が原因とみられる極端な高温、記録的豪雨、台風の巨大化等の異常気象が日本を含め世界各地で頻発しており、地球温暖化問題は気候変動の域を超えて気候危機と呼ぶべき状況に直面し、脱炭素社会に向けた動きが活発化しています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する」こととされ、また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「2050年までに温室効果ガスの排出量をゼロにすることが必要」とされています。我が国においても、2020年10月に2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル宣言」をしました。

いなべ市は、人とまちが健康で生命力にあふれた、誰もが生きがいをもって、その人らしく自己現実を目指した暮らしを営めるとともに、市民の共助による取り組みや公的な施策が充実し安心できる環境を整備することをまちづくりの基本としています。

また、地域資源を活かした産業が活発に展開され市民のみならず域外からも、いなべ市で暮らしてみたい、訪れてみたいと思える力強いまちづくりの展開を拓けています。2020年7月にはいなべ市が目指すべき将来像を見据え、SDGsという新たな概念を取り入れ、様々な課題の解決に取り組み、持続可能なまちづくりを目指しています。とりわけ、近年の温暖化による気候変動の影響は、気象災害の頻発など顕著に現れ、市民生活への影響が危惧されることから地球温暖化対策の推進が求められています。

このことから本市は再生可能エネルギーの導入を積極的に推進し脱炭素化を図るとともに、防災レジリエンスの確保と豊かな自然と調和した環境を次世代の子どもたちに引き継いでいくために、市民や地域、事業者の皆さまと一体となって2050年までに実質二酸化炭素排出量ゼロに取り組む「チャレンジ・カーボンニュートラルいなべ」を宣言します。

令和4年7月7日

いなべ市長 日沖 靖

